

地域おこし協力隊の2人を紹介します

問合せ先／ふるさと創造課 ☎42-8706
fax42-8745 furuso@city.kasai.lg.jp

現在、加西市では隊員2人が活躍しています。

※地域おこし協力隊…都市部の人材を受け入れ、さまざまな活動に従事してもらいながら、地域への定住・定着を促進し、地域力の維持や強化を図っていく制度です。

福永 枝美さん (37歳、栃木県出身、現住所：青野町)

●活動内容

移住生活を楽しみながら、ご縁を大切に活動しています。農産物を使った特産品づくり（ドライフルーツや甘酒）、自然の資源を活用したワークショップの企画・開催、ゲストの案内、ワイン用ブドウ産地としてのPR活動を行っています。



▲福永さん

●隊員になった経緯

2014年から主人と小さなブドウ畑をお借りしてワイン造りを始めました。加西市外の空き家で暮らしていた時、農家さんが、規格外の野菜を廃棄していることを知りました。そこから特産品や食のことを考え始めました。そんな時に地域おこし協力隊のお話を伺い、今に至ります。

●今後やりたいこと・読者へのメッセージなど

加西市に移住して約2年が過ぎました。苦労もありましたが、多くの学びと素晴らしい出会いに恵まれ、貴重な日々を過ごしています。家業もたくさんの方に応援、ご協力いただき、数年後、市内に醸造所を作るために動き始めています。地縁のない私たち夫婦が、ワイン造りの文化のないこの土地で、ここまで来られた事をとっても有り難く奇跡のように感じています。この機会を与えてくださったことに心から感謝しています。

辻田 聡信さん (42歳、京都府出身、現住所：北条町)

●活動内容

北条鉄道の活性化をメインに活動しています。写真撮影をしたり、各種デザインをしたり、まだ公表できないプロジェクトもひそかに進行中です。その他観光分野にも携わっていきます。



▲辻田さん

●隊員になった経緯

およそ1年前、通っていたカフェスクールと加西市とのコラボでビジネスプランコンテストが行われたのがきっかけです。その時初めて加西市を知り、同時に地域おこしの仕事にも興味を持つようになりました。いわば1年越しの夢をかなえた形です。

●今後やりたいこと・読者へのメッセージなど

北条鉄道を基盤にしつつ、もっと地域の方々と関わっていきたいです。この原稿を書いている時点では、まだ着任してから2カ月しか経っていませんが、加西市の可能性、そして私自身の可能性もどんどん広がっているように感じています。もし興味を持っていただけるなら、一緒にワクワクすることをしましょう！どうぞよろしくお祈りします。

感染症から体を守りましょう

問合せ先／健康課(健康福祉会館内) ☎42-8723
fax42-7521 kenko@city.kasai.lg.jp

4月に次の予防接種対象者には案内文書を送付していますが、接種されていない方は夏休み期間中に接種しましょう。

●予防接種対象者

予防接種名	接種年齢(望ましい接種時期)
麻しん・風しん混合(MR)2期	平成24年4月2日～25年4月1日生まれ(年長児)
二種混合(DT:ジフテリア・破傷風)	11～13歳未満(小学6年生)

●接種方法 市指定医療機関へ電話で予約してください。
指定医療機関は、広報かさい4月号または市HPでご確認ください。

●接種費用 無料
●必要な物 母子健康手帳、体温計、健康保険証(本人確認用)、予診票(医療機関または健康課にあります)

病院薬剤師は、色々な分野で活躍中

●病棟薬剤師

各病棟に専任の薬剤師を一人ずつ配置してから丸5年が過ぎました。病棟薬剤師の仕事は、患者さんが入院時に持ってこられたお薬を調べ、主治医の先生に情報をお伝えすることから始まります。その後、先生の指示に従い、患者さんの状態にあったお薬の調製をしたり、新しく内服するお薬の効果、副作用などの説明を行います。また、点滴の中には、血中濃度を適切に維持するため、薬剤の投与量のアドバイスをすることもあります。手術目的の入院では、血液がサラサラになるお薬を服用していないかの確認を行い、予定されていた治療が確実に実行されるよう支援しています。

●チーム医療

がんの治療においては、がん薬物療法認定薬剤師を中心に、安全かつ安心した医療の提供に努めています。患者さんの状態を考慮して、注射する薬剤の量を先生に提案したり、副作用が出ていないかをチェックしています。感染の面では、院内感染発生の軽減に取り組んだり、有効な抗菌薬の選択に努めています。また、口からご飯を食べられない患者さんたちへの栄養サポートにも関与し、薬学的観点からバックアップしています。入院すると、睡眠障害や妄想、興奮状態、気分障害などのせん妄を起こすことがありますが、内服薬が関係していることもあり、薬の変更などを提案することもあります。

これらは薬剤師だけで行っている訳ではありません。医

師、看護師、事務職など色々な職種の方々と連携し、患者さんに満足した医療を提供できるように取り組んでいます。

●地域医療との連携

現在、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて医療・介護の制度は大きく変革し、地域包括ケアシステムの実現に向けて動き出しています。地域全体で患者さんを支援し、在宅を中心とした医療が進んでいきます。つまり、これまで以上に、医療を提供する側として、病院、開業医、保険薬局、介護施設などが密に情報を共有していく必要があります。そういった中、病院薬剤師に求められることは、入院中の薬物療法の流れを適切に連携施設に伝達し、一元的な薬剤管理を構築することになります。また、80歳以上の方々の6割が、7種類以上の薬を内服しているというデータも厚労省から出ていますので、ポリファーマシー（多剤併用）対策にも取り組まなければなりません。今後の病院薬剤師にご期待ください。

(市立加西病院 薬剤科長 柿木 博士)



▲緩和ケア・カンファレンスの様子

北条鉄道に若き運転士が誕生

問合せ／北条鉄道 ☎42-0036

7月1日、北条鉄道に新しい運転士・山下陽平さんが誕生しました。家族や鉄道ファンが見守る中、初運転のセレモニーが開催され、先輩運転士の大橋由稀那さんから花束とハンドルを受け取りました。

初乗務を迎え、「人の命を預かる仕事なので、まずは安全にお客さまを送り届けたい」と話してくれました。その後、運転席に座り、午前9時34分北条町駅発に乗務、片道13.6kmある粟生駅間を往復しました。



初乗務を迎える山下運転士

北条鉄道利用促進キャンペーン「片道無料」

問合せ／北条鉄道 ☎42-0036

北条鉄道の良さを認識してもらおうと「北条鉄道利用促進キャンペーン」を実施します。優待券を利用して乗車された方は、1回分の乗車が無料になります。また、北条鉄道からドーナツをプレゼントします。

- 期間 8月1日(水)～10月31日(水)
- 利用方法 優待券を降車時に運転士にお渡しください。
- 注意事項 1枚につきお一人様、1回限り有効です。
※複写・印刷したものは無効です。

北条鉄道利用促進キャンペーン
～応募後1年1回の乗車から～
北条鉄道乗車本待券

有効期限／平成30年10月31日
※複写・印刷したものは無効

